

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円(期間:～2025年3月4回まで)
- ★【注文番号:500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円

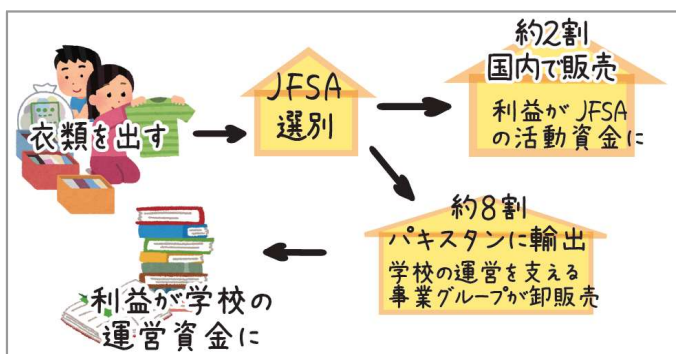


## News Letter

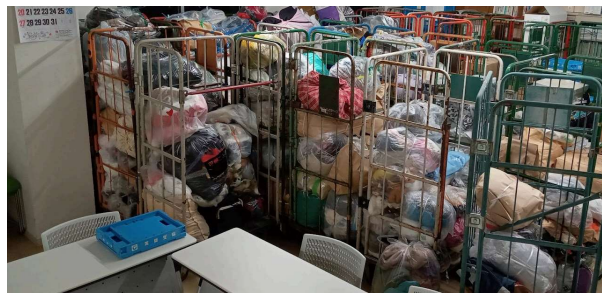
2024年12月2回号発行: 常総生協広報G  
2024.11.25

＼スラムに暮らす子どもたちの自立支援のための／

## JFSA古着回収へのご協力、ありがとうございました



常総生協ではNPO法人JFSA（日本ファイバーリサイクル連帯協議会）との連帯活動として、貧困により教育を受けられない子どもたちのために、パキスタンのカラチ市のスラムに作られた学校（アル・カイルアカデミー）との支援事業において、組合員の皆さんから回収した古着などを活用しています。



組合員活動室に集まった古着たち ↑

10月に古着回収の呼びかけをしたところ、  
今回もこの様にたくさん集まりました！→  
ご協力、ありがとうございました

そして10月末、JFSAさんが  
トラックで荷物を引き取りにきてくださいました。  
後日JFSA事務局の田邊さんより、

「回収量は  
**1257.5キログラム**でした。  
たくさんの皆さんにご協力いただき  
本当にありがとうございました。  
配達便で回収をしてくださった理事  
・監事・職員の皆さまにもお礼  
申し上げます。今、千葉センターで  
選別をすすめているところです。」  
との連絡がありました。



↑ みんなで協力してトラックへ ↑



### 2024年11・12月の予定

#### ○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク: 毎週木曜日 10～14時  
活動中です！（出入り自由）

11/30(土)臨時総代会(@常総生協本部)

【お知らせ】秋の生協祭につきまして：今年の秋は開催せず、来年度  
に50周年の集いなどを企画出来ればと思います。

#### ○提携・協同・連帯企画●

12/1(日)鈴木牧場加工場20周年催事

12/1(日)あいコープ福島まつり出展(綿ブース)

12/8(日)甲状腺検診@流山

12/15(日)生活相談会@つくば市民ネットワーク

12/25(水)東海第二原発運転差止め訴訟控訴審 第  
5回口頭弁論(@東京高等裁判所)

## 第2回 オーガニック給食フォーラム参加報告 その2

11/8（金）茨城県常陸大宮市にて開催された「第2回 オーガニック給食フォーラム」。常総生協も会議室をサテライト会場として組合員・員外の方も一緒に聴講しました。先週に続き基調講演の報告続編です。

### 基調講演 「いのちの給食が世界を変える～私たち大人が手渡せるもの」 堤未果、国際ジャーナリスト



堤さんは冒頭、2日前にトランプ氏が勝利した「**アメリカ大統領選**」に関連して、2018年にモンサント社訴訟※の原告側弁護士だったロバート・ケネディ・ジュニア氏がトランプ陣営にいて、ロバート氏が入閣したら「**まず子どもの食を変える**」としていることに触れました。

アメリカは壊れている。分断されておかしくなっているし、子どもの健康状態が悪い。成長していつか国を支えるはずの子ども達が健康でないことは問題。オーガニックはカギになる。また、ロバート氏は新型コロナワクチンの検証もすると発言。「食」と「医療」の分野にメスが入るかもしれない。両者は「大企業寄り」になっており、そのために起きている「破壊」の状況が変わるかもしれない。ロバート氏の起用は世界のオーガニックの後押しになるだろう。

（フォーラムの翌週、堤さんの予想通りロバート氏は厚生長官就任が決定）

※「モンサント社」は遺伝子組み換えの種と除草剤（ラウンド・アップ）をセット販売して世界中で大きな利益を得ていたが、農薬の発がん性を訴えられて2018年初めて敗訴。そのとき勝訴した原告側の弁護士がロバート氏。その後のモンサント訴訟はアメリカ国内で1万件を超えたが敗訴が続いている。モンサント社は多額の賠償金を払うことに。現在はドイツの「バイエル社」に買収されている。

**アメリカ発の食**は巨大企業で、世界中の子どもと学校を狙う。毎日アメリカでは8,000万人の人がファーストフードを食べている。子どもの3人に1人は肥満。米軍に入隊する年齢の子の7割が「太りすぎ」か「健康に問題あり」とされ、入隊不適格となった（大統領選中に発表された直近の数字）。国防上も問題。子ども達は食から壊れていっている（虫歯、糖尿病、うつなど）。

アメリカの食生活の7割は「**超加工品**」。全く自然の食べ物に少し手を加えたのが「加工品」。さらに化学的に添加物、人工甘味料を加えたものが「超加工品」。安くて便利で季節問わず流通して世界中で消費されている。超加工品に使われているのは、遺伝子組み換えのトウモロコシから作られた人工甘味料。70年代にアメリカは「食」を武器として、大規模化、単一生産（単一の食物だけを作らせる）、早く大量に人件費が安い所で作らせて輸出へという政策がとられた。巨大な農業法人が巨額の補助金を得て、小規模農家は蚊帳の外。超加工品は規制がゆるい国へ。日本はいいお客。日本では「食品表示」がゆるい。カリフォルニアでは日本のポテトチップス等を買って「発がん性がある」と食品表示される。**海外では「食品表示」は消費者の（知る）権利。**

**今はSDGs。**コロナ禍では海外からの食品、畜産のための飼料も流通がストップ。異常気象。大量生産、

肉食は地球を壊し、持続可能ではないという気運の高まり。そんな中で「インボッシュブルミーツ社」が手掛ける「大豆ミート」のハンバーガーがアメリカの学校給食でデビュー。カナダ、イギリス、オーストラリア、シンガポール、日本にも輸出された。最初は普通の大豆を使用していたが、給食は大きな市場。大量に原材料が必要となり遺伝子組み換え大豆へ切り替えた。大量生産のため、ブラジルの森林を伐採して畑に（環境破壊）。ハンバーガーにする過程では大量の添加物・塩分。大豆育成時の除草剤で健康被害。

「Moms Across America」を主宰するゼン・ハニークットさん曰く「**SDGsの中身を良く見ることが重要**。」オーガニック給食は地元の生産者から安心安全な有機のものを必要だけ学校給食に使うという考え方。大量生産されたものを遠くから運ぶことは相応ではない」

ダボス会議（政府関係者・学者の集まり）は①遺伝子組み換えで収量アップ ②農家高齢化に代わる無人農業 ③肉、魚、乳製品は人工で ④昆虫食を提言し、大手企業が次々参入している。

これに対し、イタリアではパスタ、ピザには入れない。スーパーでは販売を分けるなど規制をかけた。しかし日本ではNTTがコオロギ養殖（甲殻類アレルギー、カドミウム等重金属を体内に蓄積する性質はゲノム編集で解消とのこと）、徳島の高校ではコオロギコロケ。京大食ではゲノム編集魚のハンバーガー。関西電力は敷地内でゲノム編集魚の養殖。陸上養殖は法的規制がゆるく、排水、抗生物質などの情報が開示されない。

情報公開しないことは最も問題。予防原則。まず種を守ることを。

私たちは「**ローカルフード法**」を通常国会に提出したが時間切れとなった。次の臨時国会にも提出する。



超加工品の特徴は安さ。大切なのは、質を落とさず地元から買うこと。

世界ローカルイベントで一緒になったブラジルの研究者に言われたのは、日本の有機農業は、都道府県で技術があり、生協の取組があり素晴らしいと。

2月に豊岡市を訪問したが、コウノトリが住めるくらい多様な生物がいるところに人も住まわせてもらっているということだった。アメリカは、いつでも何でもすぐに手に入る、大企業による効率型の食料システム。

オーガニック給食を通して世界が変わります。日本から未来を変えていきましょう！と話しました。

（文責：職員 木本）



常総生協に関わるみなさん、こんにちは(^\_^)

ハチドリ仲間(南米・先住民の昔話、森の火を消そうと  
小さな嘴・くちばしで水を運ぶハチドリのお話より)をつなぐ  
新しいコーナー「ハチドリ・レター」です。  
今週は理事の森さんからです♪



プラスチックの世界の生産量は、2015年の年間4億トン→2022年に年間4億3200万トンと8%増加。地球環境のことを考えると、脱プラスチックは喫緊の課題です。(脱プラスチックについては、News Letter2021年8月2・3回でも掲載しています)

常総生協では、リユース容器(卵パック・牛乳瓶等)もありますが、お届けに使うポリ袋の削減には至っていないのが現状です。(なお、冷凍品や常温品用レジ袋は、環境に配慮して植物由来のバイオマス原料を25%使用した原料を使っています)

### ピッキングの現場見学——ポリ袋削減は可能か？

11月3日、世間はお休みの日でしたが、専務の柿崎さんにご案内していただき、今回は月曜配達分の冷蔵品のピッキングの現場見学をさせていただきました。ピッキングの現場では、発泡スチロールの白い通箱(シッパー)に、大きめのポリ袋(ポリエチレン製)を敷いて、シッパーに貼られた番号にあわせて、棚に並んだ同じ番号の商品(棚に番号のランプが点滅する仕組みです)を入れていきます。



※ピッキングの様子は2024年9月3月号(9月1日発行)「常総生協走る! ピッキングの現場から」に写真付きレポートがあります。常総生協HPのニュースレターのバックナンバーで見ることができます。



現場を見ただけではわからないところがあって、自宅への配達時、荷下ろしを見学しました。その時はわかったような気がしていたのですが、よく考えるとやはりわからないところがあり、次の週の荷下ろしも見学しました。

何がわからなかったかということ・・・

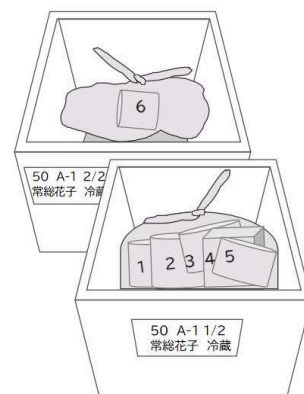
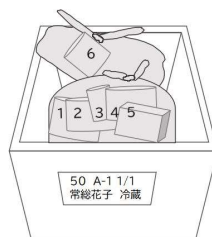
冷蔵品が、なぜ少量ずついくつかのポリ袋に分かれて入ってくるのか、がわからなかったのです。荷下ろしの時、商品の入ったシッパーの空いているスペースに、別積みの牛乳などが入れられてトラックから降ろされているのが見えましたが、謎は解けません。

玄関を開けると、配達の職員さんが1袋ずつ、これは冷凍、これは冷蔵、これは常温、次はパン、はい牛乳、瓶だから気をつけてね、と丁寧に渡してくれます。ただ、冷蔵品はシッパー1個・1袋に入りきりそうな量だったのに、大きなポリ袋3個になっていました。なぜだろう?これは調べなくては、といっても、職員さんに聞かなければ分からないことです。そのことを理事会のメンバーに共有したところ、専務の柿崎さんが調べてくださって、なぞが解けました。以下にまとめます。

『シッパー1箱に入る量は個数でプログラムされ、5個で設定、6個目は自動的に2箱目にセットされる(6個目になった時点で2箱目の箱ラベルが発行されるので、作業者は箱をラインに置かざるを得ない。そうしないとラベルだけが宙に浮く)。だから全部で6個しかなくて6個目がなめこ1個でも、大きな袋に1個だけ入っているということがあり得るのです。ただ、現場で合わせるなどの「ひと手間」は可能な限り加えています(全部は無理ですが)。改善の余地はありそうですが、おそらくはプログラムと実務の変更が必要です。「袋の枚数は減ったけど、手間が激増した」ではいけませんので、いずれにしても、関係担当者との協議は必要ですね。』

ということです。ありがとうございました!

プラスチックの削減は可能かもしれません。けれども新たな問題が見えてきました。システム担当、物流現場担当、商品担当の方に多大な負担をかけるかもしれない。ちょっと心配しながらも、少しでも資源を節約できたらとワクワクしています。



↑2つのシッパーにと、入ってたり

↖量次第では、1つのシッパーに2袋入っていることも。



命と生活をまもるための

# 生活相談会

12月15日(日) 12:00~14:00

会場：つくば・市民ネットワーク事務所  
つくば市二の宮2丁目1-3 クラフトビル1階  
(ウラ面に地図↓)

無料

**カンパや物資の支援もお待ちしています！**

消費期限内の食料品類、日用品、衣類など集めています。

銀行口座への振り込みも受け付けています。

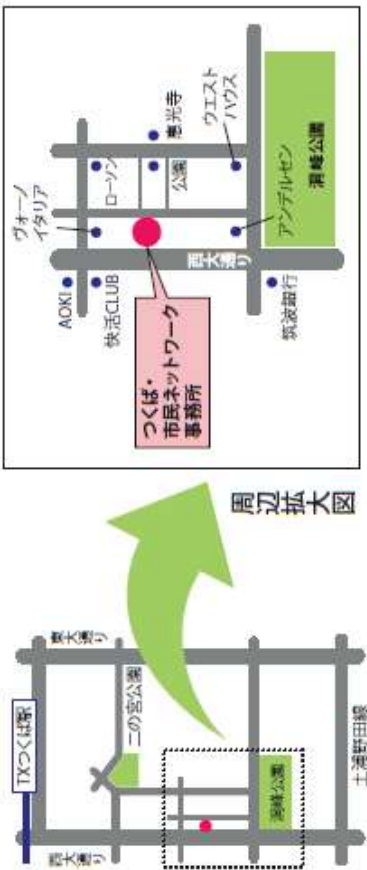
常陽銀行口座 104-4032972  
生活困窮ささえあい茨城  
(セイカツコンキョウササエイバライキ)

※「生活困窮ささえあい茨城」とは…  
2021年～生活相談会の開催や生活支援を行っています。  
2022年に15件、2023年は20件の相談を受け、  
公的支援や福祉・自立生活へつなぐサポートをしています。

主 催：生活困窮ささえあい茨城  
協力団体：生活クラブ生活協同組合

2024年12月15日生活相談会

## 会場はコチラ↓



### ご寄付にご協力ください！

皆様のご寄付は、生活困窮の方々への食糧、生活必需品、緊急で住まいを借りる際のガス契約保証金や移動時の交通費・通信用のリスタート携帯など、様々な生活支援及び費用立替えに使わせていただいています。困窮した一時を乗り越えることで、生活再建に向かえるケースも多く、公的支援が届かない方々の大きな支えになっています。

**【寄付金】** ★銀行口座への振り込みは下記口座にお願いいたします。  
常陽銀行 研究学園都市支店 普通 4032972  
口座名義：生活困窮ささえあい茨城(セイカツコンキョウササエイバライキ)

**【食品】** 米、レトルト、缶詰、乾麺、乾物、即席スープ、インスタントコーヒー、菓子類など  
★賞味期限が 2025年1月以降 ★未開封 ★常温保存可能  
★お米は2023年度産以降、精米は1か月以内に精米したもの

**【食品以外】** 一人暮らしの生活を再スタートさせる時の日用品  
(食器、調理用具、布団類、洗剤、トイレットペーパー、学用品、衣類など)  
★食器・調理用具・布団類は使用可能なもの、その他は新品・未使用のもの

※ご不明な点は生活困窮ささえあい茨城事務局(電話029-859-0264)へご相談ください。